

ハイブリッドIPトランシーバー IP700S シリーズ

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
本製品の設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7705W-2J-1 Printed in Japan
© 2022 Icom Inc.

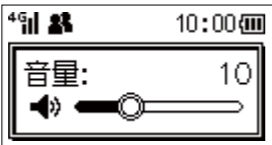
電源の入れかたと音量調整のしかた

電源を入れる
電源/音量ツマミを時計方向に、12時の位置まで回します。
●「カチッ」と音がして、「ピー」と鳴ります。
●起動が完了すると、待受画面が表示されます。



起動パスワードの入力
「パスワード?」と表示されるときは、パスワードの入力が必要です。あらかじめ設定された順番どおりに、無線機本体のキーを押すと、パスワードが解除されます。

音量を調整する
電源/音量ツマミを回すと、音量が調整できます。
※調整できる範囲は、「0～32」です。相手の音声聞きやすい音量に調整してください。
※音量が最小のときは、操作音(ピーブ音)や受信した音声聞こえません。

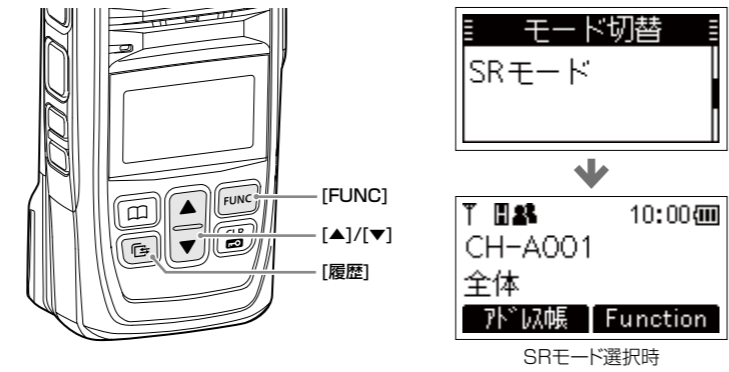


電源を切るときは
電源/音量ツマミを反時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。
※電源を切ったあと、少しのあいだ通電状態になりますので、電源を入れなおすときは、電源を切ってから10秒ほどお待ちください。
※バッテリーパックを交換するときは、「電源OFF…」の表示が消えたことを確認してから、バッテリーパックを取りはずしてください。
ロック機能について
[CLR/LOCK]を長く(約1秒)押し、「ピピッ」と鳴って、「」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、電源の入/切、音量調整、モニター機能のON/OFFです。
※緊急呼び出し機能が設定されている場合、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。

運用モードの切り替え

状況に応じて、運用モードを変更できます。
※SRモード、デュアルモードでの操作については裏面をご覧ください。

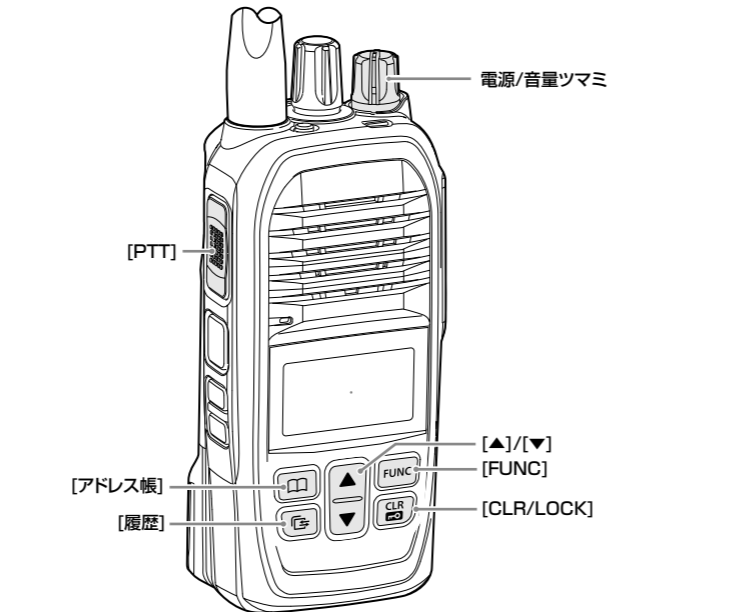
- [FUNC]を押して、モード切替を選択します。
※キーを押すごとに、お買い上げの販売店で割り当てられた機能が表示されます。
- [▲]/[▼]を押して、モードを選択します。
- [履歴]を押します。
●選択したモードに切り替わります。



SETモードによる機能設定

本製品の各機能を変更できるSETモードには、基本と詳細の2種類があります。
※SETモードを解除するまで、送信や受信ができません。
※各機能について詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

- SETモードに移行する**
 - 基本モードの場合 : [FUNC]を押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
詳細モードの場合 : [FUNC]と[アドレス帳]を押しながら、電源/音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。
 - 表示部に「SET」が表示されたら、キーから手をはなします。
 - [SET MODE]で[▲]/[▼]を押して設定するメニュー(共通/LTE/SR/デュアル)を選択し、[FUNC]を押します。
※適合表示無線設備の番号など認証番号を確認するときは、「認証」を選択します。
※メニューの選択画面に戻るときは、[PTT]、または[CLR/LOCK]を押します。
- 設定を変更する**
 - [アドレス帳]、または[FUNC]を押して、項目を選択します。
 - [▲]/[▼]を押して、設定内容を変更し、確定します。
※ほかの機能も変更するときは、手順①と②の操作を繰り返します。
- SETモードを解除する**
[PTT]、または[CLR/LOCK]を2回押します。
●SETモードが解除されます。
※リセット(初期化)、FIRM UP、履歴削除などをする場合は、[履歴]を押します。



LTEモードでの操作

LTEモードでは、弊社製IP無線機と通話できます。

(※表示部やアイコンについては、裏面をご覧ください。)

呼出種別(呼出先)について

「アドレス帳からの呼出」が有効に設定されている場合は、本製品の[アドレス帳]を押して、呼出種別(呼出先)を切り替えられます。
※[▲]/[▼]を押すと、アドレス帳から相手先を選択できます。
※無効になっている場合は、[PTT]を押すと、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出します。



呼び出しモード表示
呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。



通話のしかた

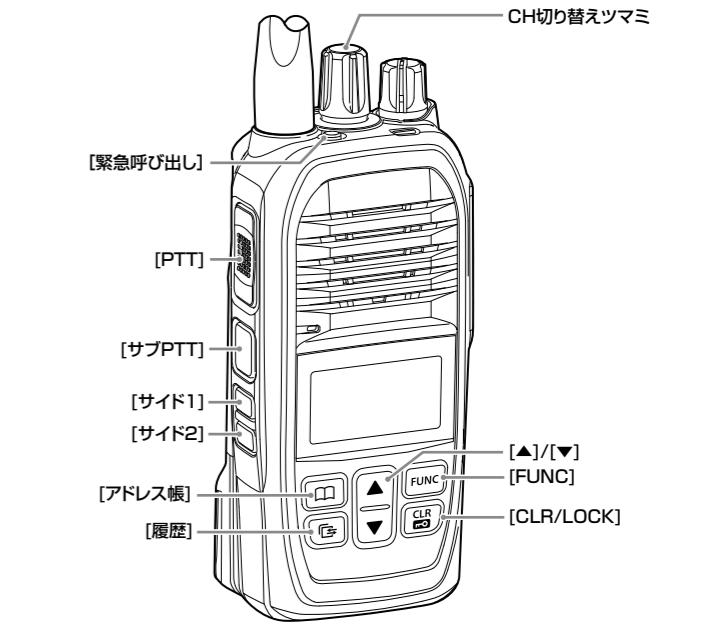
- 呼び出しをする(送信する)**
[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。
●[PTT]を押しているあいだは、送信/受信ランプが赤色に点灯します。
- 呼び出しを受ける(受信する)**
信号を受信すると、送信/受信ランプが緑色に点灯します。
- 通話をつづける**
相手が送信しているときでも、[PTT]を押しながら、電話のように同時通話できます。
●送受信状態(同時通話時)のときは、送信/受信ランプが黄色に点灯します。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。



交互通話(単信通話)の場合
お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。
※相手の通話が終了してから、送信してください。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

ご注意
本製品の受信音量が最大近くに設定され、騒音環境や本製品同士を近づけていた状態で、同時通話をする、相手に周期的な残響ノイズが聞こえることがあります。このようなときは、電源/音量ツマミを回して、音量を小さくすると、現象が発生しにくくなります。

各キーの使いかた



[PTT]	キーを押しているあいだ、送信状態になります。
[アドレス帳]	アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。 キーを押すごとに、呼出種別(全体/グループ(トークグループ)/個別/電話)が切り替わります。 ※アドレス帳が無効になっている場合は、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出せます。
[履歴]	短押し キーを短く押すごとに、履歴が切り替わります。 長押し 録音を再生するときに操作します。
[FUNC]	自局名の表示、運用モードの切り替え、送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループなどを選択するときに操作します。
[CLR/LOCK]	短押し メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。 長押し ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]	アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。 ※CH切り替えツマミと[▲]/[▼]は同じ動作をします。

※上表に記載されている機能、[緊急呼び出し]、[サブPTT]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

SRモードでの操作

SRモードでは、同じ通話チャンネルの一般業務用無線機と通話できます。

通話チャンネルについて

お買い上げの販売店で、あらかじめ免許を受けた周波数が免許局用の通話チャンネルとして設定されています。設定変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

通話のしかた

1. 通話チャンネルを合わせる

CH切り替えツマミを回して通話チャンネル(デジタル/アナログ)を切り替えます。

2. 相手先を選択する

[▲]/[▼]を押して、アドレス帳から相手先(例：全体)を選択します。

※アドレス帳を利用した相手先の選択については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

3. 呼び出しをする(送信する)

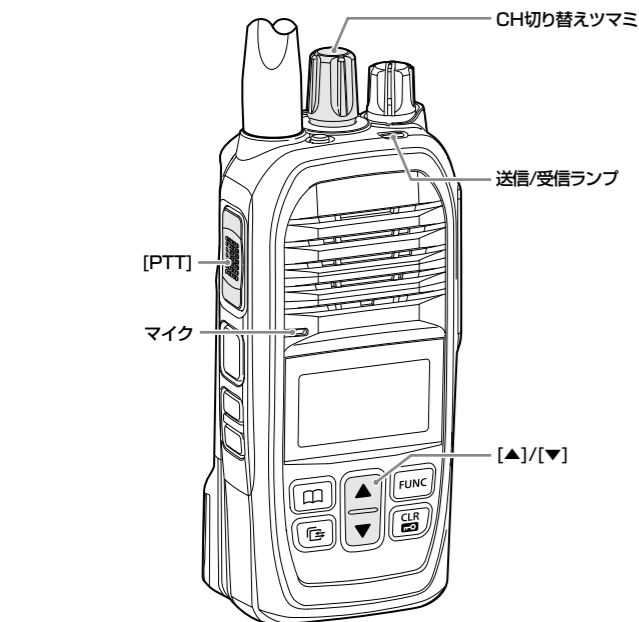
相手と同じ通話チャンネルに合わせてから、他局が通信していないこと(送信/受信ランプ：消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

4. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、送信/受信ランプが緑色に点灯して、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

5. 通話をつづける

応答するときは、待受状態(送信/受信ランプ：消灯)になってから、[PTT]を押します。※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。



各キーの使いかた



[PTT]	キーを押しているあいだ、送信状態になります。
[アドレス帳]	短押し キーを押すごとに、呼出種別(全体/個別/グループ番号)が切り替わります。 長押し 送信出力を切り替えるときに操作します。
[履歴]	短押し キーを短く押すごとに、履歴が切り替わります。 長押し 録音を再生するときに操作します。
[FUNC]	運用モードの切り替え、Bluetooth関連*、録音などを選択するときに操作します。
[CLR/LOCK]	短押し メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。 長押し ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]	アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。
CH切り替えツマミ	ツマミを回して、通話チャンネル(デジタル/アナログ)を切り替えます。 ※アドレス帳や履歴画面内のカーソルの移動にも使用できます。

※上表に記載されている機能、[緊急呼び出し]、[サブPTT]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

★Bluetooth搭載版のみ

ご参考に ご利用になる目的に応じて、下記の機能をご使用ください。設定が一致した相手と通話できます。 ※各機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 ※各操作について詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。
◎ユーザーコード 複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。ほかの人の音声を聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くとときに使用します。 ※通話チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。 ※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。
◎秘話機能 秘話機能を設定すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。 ※通話チャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。
◎個別呼び出し(アナログモード)、選択呼び出し(デジタルモード) 詳細な設定をすることで、「全体呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」ができます。

デュアルモードでの操作

デュアルモードでは、LTEモードとSRモードを同時に使用できます。

メイン/サブの切り替えと送信のしかた

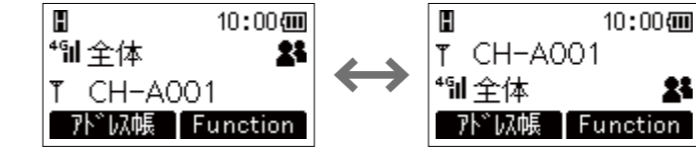
[PTT]で送信できるメイン(上部)と[サブPTT]で送信できるサブ(下部)に、LTEモードとSRモードを割り当てて使用します。



切り替えかた

[FUNC]を長く(約1秒)押すごとに、メインとサブが切り替わります。

※初回起動時(リセット/ファームウェア更新後)は、メイン(上部)がLTEモード、サブ(下部)がSRモードになります。

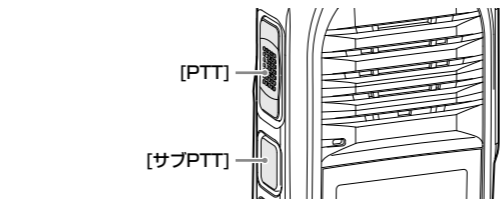


送信のしかた

◎[PTT]を操作するとメイン側、[サブPTT]を操作するとサブ側に表示されている運用モードの呼出種別(呼出先)に対して送信できます。

◎LTEモードとSRモードに対して同時送信するときは、[PTT]と[サブPTT]を同時に操作します。

※呼出種別(呼出先)や通話チャンネルを変更できるのは、メイン側に表示されている運用モードだけです。サブ側を変更するときは、いったんメインに切り替えてから操作してください。



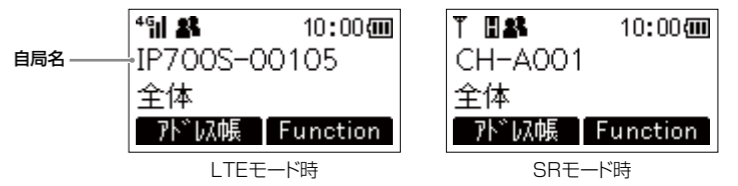
各キーの使いかた

[PTT]	キーを押しているあいだ、メイン側が送信状態になります。
[サブPTT]	キーを押しているあいだ、サブ側が送信状態になります。 ※デュアルモード時は、設定に関係なくサブ側を送信するPTT動作になります。
[アドレス帳]	短押し アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。キーを押すごとに、呼出種別(全体/グループ/個別/電話)が切り替わります。 ※アドレス帳が無効になっている場合は、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出せます。 長押し SRの送信出力を切り替えるときに操作します。
[履歴]	短押し キーを短く押すごとに、履歴が切り替わります。 長押し 録音を再生するときに操作します。
[FUNC]	短押し LTEモード時、SRモード時と同様に、運用モードの切り替え、Bluetooth関連*、録音などを選択するときに操作します。 長押し メイン/サブを切り替えるときに操作します。
[CLR/LOCK]	短押し メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。 長押し ロック機能をON/OFFします。
[▲]/[▼]	アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。
CH切り替えツマミ	アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。待ち受け状態でツマミを回すと、通話チャンネル(デジタル/アナログ)を切り替えられます。

※上表に記載されている機能、[緊急呼び出し]、[サイド1]、[サイド2]は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

★Bluetooth搭載版のみ

表示部について



お買い上げの販売店で「自局名」が設定されていない場合は、LTEモード時、5桁の自局番号(例：00105)が表示されます。

LTEモード

	電波の強度を3段階(目安)で表示 ※キャリア表示設定時は、D(ドコモ網)やK(au網)が表示されます。
	点滅：サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合(圏外) 点灯：IP無線コントローラーに繋がっていないとき(未レジスト)
	全体/グループ呼び出し
	トークグループ呼び出し
	個別呼び出し時
	電話(発信/着信)
	ポケットビーブ機能設定時
	Pベル機能表示
	点滅：GPS測位中(GPS情報が通知できていない状態) 点灯：GPS測位完了(GPS情報が通知できている状態) ※お買い上げの販売店で設定されている場合に表示されます。

SRモード

	電波の強度を4段階(目安)で表示 ※Tは、待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。
	全体/グループ呼び出し
	個別呼び出し時
	グループメンバーに設定されているグループ番号
	秘話機能設定時
	ハイパワー(5W)選択時
	ローパワー(1W)選択時
	受信専用チャンネル選択時
	点滅：スキャン中 点灯：スキャン対象チャンネル選択時

LTE/SRモード

	点滅：録音中/未確認録音データあり、点灯：録音機能設定時
	Bluetooth機能設定時*
	Bluetooth機器と接続中*
	ロック機能動作中
	VOX機能設定時
	緊急呼び出し機能設定時
	電池の残量(目安)を4段階で表示 十分、残量あり、残量少(早めに充電)、残量なし(要充電)

★Bluetooth搭載版のみ